

柳瀬川町内会会員各位

柳瀬川町内会
作成 会長 竹前 栄二



平成28年9月度役員会議事録

議題及び確認事項・決定事項

開催日：平成28年9月10日（土） 開催時間：19:00～19:50

開催場所：柳瀬川町内会館

出席者：14名 会長・副会長・顧問・班長

議題

- 1・社会福祉協議会会員募集の件 募金締切り 9月24日（土曜日）
書類内容
1-1：会員加入のお願いチラシ＝広報と同じ枚数全戸配布（黄色い用紙）
1-2：社協パンフ＝会員のみに配布
1-3：社協会員募集回覧
1-4：平成28年度 志木市社会福祉協議会会員募集要領＝回覧不用役員用
1-5：納付書（領収後副会長に届けて下さい）、領収書（納付後会員に渡す）

- 2・秋季バーベキュー大会について。
会費；大人 500円 子供 100円 前回と同じ。
実施日案：10月30日（日曜日）開催
コミ協より「ポッコーンマシン」を借りる予定。

- 3・納涼大会反省会で作された内容です。
 - a・分別調理（具材と焼きそばを別々）をした結果スムーズに終わることが出来た。特に女性の力が大きかった。
 - b・具材：肉3・5キロ、もやし、その他の具材も適量だった。
 - c・事前に駐車禁止の回覧を回したのにも関わらず（白色レクサス成田ナンバー）不法駐車された。昼頃移動したが所在は不明である。今後の課題として残った。
対策として前夜に駐車場に警告書を張る他駐車していなければロープを張る。
 - d・煮物の内容は問題なし。
 - e・カキ氷用「スプーン」を出し忘れた。
 - f・終了間際、降雨となったのも原因だが「生ごみ」を外に出して置き「カラス」に荒らされた。今後暫定でも必ず会館内に一時収納する。
 - g・アルコール類：現状でよい。
 - h・から揚げ個数（80個）購入でよかった。（人数分を用意）
 - i・テント間の水処理を次回から改良する。（プラスチック製桶を購入する。）

- j・ポップコーンマシンは電気消費量が高くコードが燃える事故が発生。今後単独配線とする他、照明電球（200W×5個＝1キロワット）をLED化する。
- k・花火会場が真っ暗闇の中で行われていたが危険でないか検証していきたい。対策として次回から、電池式の「ランタン」を用意する。
- l・一部の会員から、焼きそばが薄味？との、苦情が出たようだが個々の問題なので「ソース」等の調味料で補ってもらおう。
- m・氷は解けやすいので、班長、副班長まで声を掛けて増やしたほうがいいのでは？。

4・敬老会開催：9月27日（火曜日）12時～

前回70歳以上が対象でしたので今回も同様といたします。

4-1：企画内容の検討：文化部を中心に企画会を開催

5・その他

5-1：6班「辻井氏」が9月に転居するが、引き続き町内会会員在籍を希望しています。

今後も町内会会員として在籍を了承。イベント当等の連絡は、伊藤副会長にお願いします。

その他の件については、「ホームページ」から情報を見て貰うようにお願いします。

5-2：10月度役員会、連休なので第1土曜日「10月1日」に変更します。

5-3：納涼大会助成金3万円を、社会福祉協議会に申請しました。

5-4：8月22日に起きました、大排水の洪水に対して、可搬式ポンプ（エンジンポンプ）の稼働に問題がありました。当町内会だけでは対応が難しいので、城町内会、館町内会の3町内会で今後の対策を話し合いました結果、ポンプ稼働のマニュアル化を行政と協議することになり、9月28日（水曜日）館町内会館で、18時から行政と協議いたします。

各町内会3名迄と、出席と決めましたので、22日にポンプ稼働で経験を積んだ仁科氏、小島氏にお願いしました。

5-5：町内会旗について

体育祭等に掲揚していましたが、参加人数不足で数年参加していないので、今後大きなイベント、町内会総会等で掲揚する事になりました。

5-6：254バイパスについて：正式には「一般国道254号和光富士見バイパス」

目的は（下記資料からはH議員の政治活動報告書よりの引用となります）

6-1・国道254号（現道）の混雑緩和

6-2・埼玉県南西部の幹線道路ネットワークの強化

6-3・地域内の交通安全の向上

6-4・構想から40年以上経ちますが未だかんせいには10年？ほどかかるとの事。

6-5・今秋から国道463号（浦所通り）、通称富士見有料通り（富士見バイパス）T字路交差点部を立体交差工事に入ります。

H議員の政治活動報告書より

(参照)

H28.3.31現在

	第2期整備区間						第1期整備区間		
	富士見市	志木市			朝霞市		和光市		
	R463～保谷志木線	保谷志木線～さいたま東村山線	さいたま東村山線～宮戸橋	宮戸橋～朝霞蕨線	第1期				
全体面積(m ²)	6,326	22,449	19,076	37,310	16,356	59,247	68,002	26,413	
取得済み(m ²)	6,326	21,800	14,513	34,721	14,146	47,938	67,936	26,413	
取得率	地区別	100%	97.1%	76.1%	93.1%	86.5%	80.9%	99.9%	100%
	市別	100%	89.5%			80.9%			
	1期2期別	86.70%						99.90%	
	全体	91.6%							

◇渋滞解消・環境対策の取り組み

254 バイパスはたくさんの道路と交差します。この交差について立体化するか、平面化するかでも議論がありました。こちらも県土事務所の検討報告が遅れ、後手に回り市民からの質問で多かった内容です。

結論から言えば、志木市内は「立体交差」は造らないというのが埼玉県県土事務所からの回答です。この回

答について、「立体交差のようなコンクリートの構造物は圧迫感もあり、また景観も悪くなるので平面でよい」という意見と「渋滞がさらにひどくなるので立体はつくるべきだ」と賛否両論の意見をいただきました。これらも多くの意見がでると思いますので注意深く見ていきます。以下は、平成19年11月に出された交差する道路をどのようにするか、検討がなされた資料です。

	平面案	高架案	地下案(トンネル)
走行性	信号箇所は 止まる	スムーズに 流れる	スムーズに 流れる
経済性	安価で早く完成 約25億円(用地費除く)	高価で完成に時間がかかる 約190億円(用地費除く)	高価で完成に非常に時間がかかる 約460億円(用地費除く)
沿道利用	本線への出入りが 容易	本線への出入りが 制限	本線への出入りが できない
防災	早期の復旧 が可能	復旧に時間 がかかる	復旧に非常に時間 がかかる
環境	排気ガス、騒音による影響は 環境緩衝帯 でなし	排気ガス、騒音による影響は ほとんどない	排気ガス、騒音による影響は ほとんどない 地盤沈下や地下水の枯渇の可能性あり

まず、「高架にする」「トンネルにする」のにこんなにもコストが違うことに驚きました。だからといって平面でよいかという議論は必要だと思いますが、県土事務

所の見解としては「総合的な検討の結果、「平面案」が最も優れた案である」としています。理由は以下の通りとなっています。

- (理由) ① 建設費が少ない ② 県道と幹線市道と接続しやすい ③ 良好な街並み形成ができる
 ④ 車両火災等の場合でも被害が少なく、緊急輸送路としての機能も高い
 ⑤ 騒音・振動も緩衝帯で低減でき景観に優れている ⑥ 交差道路の横断も信号で可能になる。
 ※ 緩衝帯とは、国道に沿って作られる歩道や自転車道路などで、植栽も充実する予定となっています。

このような理由から県土事務所の意向としては平面案を採用する方向で検討が進められています。渋滞の心配をされている方も多く、本道路で渋滞は緩和するとされていますが、今後、渋滞の予測値など経済的側面からし

っかりとした数値なども求めていく予定です。宗岡地区を大きく二分する道路になります。これからのまちづくりの大きな課題ですので、関心をもって取り組み、市民の皆様へ発信していきたいと思ひます。 討議資料

以上